

大阪市は存続！ 当初の世論調査の賛成多数を僅差でひっくり返し「都構想」否決。海を隔てた向かいの国でも選挙が接戦、「開票止めろ」「続けろ」にはビックリ

10月28日のゼミは、マルクス『資本論』第3巻第34章「通貨主義」と1844年のイギリスの銀行立法」の後半(S571から)を、代打・高田の報告で行いました。J.S. ミルは1844年銀行法が過剰投機を抑制したと主張したが、その4月後に恐慌が勃発した。この銀行法の真の目的は貨幣を高価にすること。高い利子率になれば銀行業者には有利になり、正直・勤勉な事業家に非常に悪い作用となる。オーバーストーンは高い利子率での製造業が不況なのは物的資本の減少の結果というが、実際の不況状態では物的生産資本・商品資本が遊休している。討論では、恐慌が当時10年周期だったのはなぜか、固定資本の更新と関係あるとの説がある。キャッシュレスは中国や韓国など先進国でないところで進み、デジタル通貨が目論まれている。マイナンバーカードを通貨とする動きがあるとも。通貨発行は国家主権そのもの、ユーロはどうか。香港は香港ドルだが人民元との関係は。当時は金貨でなく銀貨が主流、それで貸金でなく貸銀と書くのかな。10月1日に東京証券取引所が一日ストップ、翌日の日経新聞株価欄にはご丁寧に数字に代わり「一」が紙面一杯満載、これがデジタル社会の負の姿。プラスチックのサーマルリサイクルはどうか。出席は、高島さん、川口さん、服部さん、斎藤さんと高田の5名でした。

* 11月11日のゼミは、岸本聡子「地域自治で、グローバル資本主義を包囲する」(『世界』2020年11月号)を行います。なお、時間がありませんでしたら、テミンのルイス・モデルについても報告があります。

* 第2週の新しいテキストは斎藤幸平『人新世の「資本論」』(集英社新著)に決まりました。テキスト入手の都合上、11月11日ゼミは岸本論文を行い、斎藤本は12月9日ゼミからになります。

***** ゼミ日程 *****

- 11月11日(水)午後6時半～9時 淀屋橋道修町・アイクルの部屋
岸本聡子「地域自治で、グローバル資本主義を包囲する」 報告川口さん
- 11月25日(水)午後6時半～9時 淀屋橋道修町・アイクルの部屋
マルクス『資本論』第3巻35章 貴金属と為替相場 1節 報告服部さん
- 12月9日(水)午後6時半～9時 淀屋橋道修町・アイクルの部屋
斎藤幸平『人新世の「資本論」』※範囲・報告者未定
- 12月23日(水)午後6時半～9時 淀屋橋道修町・アイクルの部屋
マルクス『資本論』第3巻35章 貴金属と為替相場 2節 報告者未定
- その後 2021/1/13, 1/27, 2/10, 2/24, 3/10, 3/24 (アイクルの部屋)